

## ぎふ清流国体・大会に花を添えて

～ぎふ清流国体・大会「花いっぱい運動」～

9月5日(水)三洋電機旧男子寮前でぎふ清流国体・大会「花いっぱい運動」が行われました。

町老人クラブ連合会会員の皆さんがマリーゴールドの株(1000株)をプランターに4株ずつ、ぎふ清流国体・大会の成功を願いながら定植しました。



▲マリーゴールドを定植する参加者

この運動は、ぎふ清流国体・大会を花で美しく飾り、開催ムードを盛り上げるとともに、町内外から訪れる方々を温かくお迎えするために行われたものです。



西結在住 堀 明美 さん

このプランターには、一人ひとりの国体・大会に対する思いが記されています。私たちは、その思いに花を添え、皆さんといっしょに盛り上げていきたいと思っています。

## 温かい贈り物、ありがとうございます

～町赤十字奉仕団バスタオル寄附～

8月24日(金)町赤十字奉仕団(梶井和子委員長)が特別養護老人ホーム「あすわ苑」を訪問し、バスタオル50枚を寄附されました。

寄附されたバスタオルは、同奉仕団が安八ふれあい祭りなどの行事で出店した売り上げから購入したものです。バスタオルを受け取った堀町長は「心温まる贈り物、ありがとうございます」とお礼を述べました。梶井委員長は「入所している方が少しでも温かい気持ちになれば幸いです」と話されて



▲町赤十字奉仕団の皆さんと寄附されたバスタオル

いました。



安八町赤十字奉仕団

日比野 正子 さん

私自身、あすわ苑に入所している皆さんから元気をいただきながらこの活動を続けさせていただいています。

## いざというときのために!!

～各地区で防災訓練が行われました～

8月26日(日)午前8時から牧地区内の天王組、下二番組、下一番組の住民約130人が参加して防災訓練が行われました。この訓練は、自主防災意識の高揚と防災技術の向上を目的とし、地区の皆さんが自主的に計画したものです。

訓練では消火器による初期消火訓練、消火栓ホースの接続方法など災害時に自分たちでできることを学びました。



安八町牧在住 金森 歩 さん

消火器は、生活のなかで一番身近な所にあるので、確実に取り扱えるようにします。



▲訓練に取り組む参加者(牧地区)



▲一斉放水する消防団(大森地区)

9月2日(日)午前8時「東海地方を震源とする地震が発生し震度6強の揺れが安八町を襲った」という想定のもと、名木林神社周辺で森部(八幡・下河原)、大森地区の住民や消防団など約350人が参加して防災訓練が行われました。訓練では地震発生を知らせるサイレンを合図に自宅から地区の避難所へ避難する訓練を行った後、避難所のできる応急手当や消火器やバケツリレーによる初期消火訓練などを行いました。また、防災訓練に続いて消防団、東分署による消防機動演習も行われ、火災時に素早い消火活動など日ごろの訓練の成果を披露しました。